

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科

専攻別テーマ制作(イラストレーション・絵本専攻)

担当教員 飯田 淳

受講アトリエ【702】 修得単位：2単位

2023/02/13(月)- 2023/02/24(金)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

見えない物を、見える物にする。例えば、味覚や臭覚、音をビジュアル化する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	2月13日	月		視覚文明史	○	オリエンテーション	
2	2月14日	火		自主制作	○	制作指導	
3	2月15日	水		自主制作	○	制作指導	
4	2月16日	木		自主制作		自主制作	
5	2月17日	金		自主制作	○	制作指導	
6	2月18日	土		仏語		就職セミナー	
7	2月19日	日					
8	2月20日	月		視覚文明史		自主制作	
9	2月21日	火		自主制作		自主制作	
10	2月22日	水		自主制作	○	制作指導	
11	2月23日	木		天皇誕生日			
12	2月24日	金		自主制作	○	最終講評	

学習目標

オリジナリティーのある作品を制作し、自分の「良さ」気づく事を目標とする。

予習・準備物

鉛筆、画用紙、着彩道具

注意事項

評価方法

提出課題による採点と授業に取り組む姿勢

専攻別テーマ制作(版画専攻)

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ【602 版画工房】修得単位：2単位

2023/02/13(月)- 2023/02/24(金)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

水性木版画1版単色（墨摺り）モノクロームの大型版木に取り組み制作することで、木版画水性摺り技法の基本と魅力を体験します。版木サイズ 900×600mm

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	2月13日	月		視覚文明史	○	版木にドローイング～彫版開始	スライド作家紹介 / 彫り方の解説
2	2月14日	火		彫版	○	摺りデモンストレーション	木版画の摺り方/和紙の湿しについて
3	2月15日	水		彫版		彫版	
4	2月16日	木		彫版	○	彫版 / 試し摺り	
5	2月17日	金		彫版 / 試し摺り	○	表現の展開 1	木版画技法解説
6	2月18日	土		仏語		就職セミナー	
7	2月19日	日					
8	2月20日	月		視覚文明史	○	表現の展開 2	木版画技法解説
9	2月21日	火		試し摺り / 彫版		試し摺り / 彫版	
10	2月22日	水		本摺り	○	本摺り	本摺り開始 / 作品の仕上げについて
11	2月23日	木		天皇誕生日			
12	2月24日	金	○	本摺り / 講評			作品講評

学習目標

水性木版画の基本技術の習得

予習・準備物

エプロン等の作業着 水彩用もしくはデザイン筆（安価なもので可）※授業初日に説明します

注意事項

彫刻刀を使用するので、取り扱いには十分に注意すること

評価方法

提出課題による採点 授業姿勢

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科

専攻別テーマ制作(メディアデザイン専攻)

担当教員 岡山拓史

受講アトリエ【402】修得単位：2単位

2023/02/13(月)- 2023/02/24(金)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

映像制作の現場で必要となる知識や技術などの基礎を学び、昨今のメディアやデバイスの特性を理解しながら1本の映像を制作する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	2月13日	月		視覚文明史	○	オリエン・制作	
2	2月14日	火		自主制作		自主制作	
3	2月15日	水		自主制作	○	制作	
4	2月16日	木		自主制作		自主制作	
5	2月17日	金		自主制作	○	制作	
6	2月18日	土		仏語		就職セミナー	
7	2月19日	日					
8	2月20日	月		視覚文明史	○	制作	
9	2月21日	火		自主制作		自主制作	
10	2月22日	水		自主制作	○	制作	
11	2月23日	木		天皇誕生日			
12	2月24日	金		自主制作	○	最終講評	

学習目標

短期間での企画出し、撮影、編集、スケジュール管理など映像制作の一連の流れを体験。制作した動画は各種メディアで配信。

予習・準備物

注意事項

受講人数によってはグループワークとして制作。

評価方法

提出課題による採点 & 積極性

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科

専攻別テーマ制作(グラフィックデザイン専攻)

担当教員 山本哲次

受講アトリエ【401 302】修得単位：2単位

2023/02/13(月)- 2023/02/24(金)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

ポスターとフライヤーを制作します。その際、配布された原稿の情報が伝わるようにレイアウトします。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	2月13日	月		視覚文明史	○	ガイダンス	
2	2月14日	火		制作		制作	
3	2月15日	水	○	制作チェック	○	制作チェック	
4	2月16日	木		制作		制作	
5	2月17日	金	○	制作チェック	○	中間講評	
6	2月18日	土		仏語		就職セミナー	
7	2月19日	日					
8	2月20日	月		視覚文明史		制作	
9	2月21日	火		制作		制作	
10	2月22日	水	○	制作チェック	○	制作チェック	
11	2月23日	木		天皇誕生日			
12	2月24日	金		制作	○	最終講評	

学習目標

1年間で身につけた基礎力を基に、コミュニケーションと表現の関係性の理解が進むことを目標とします。

告知内容を見る人にどう表現すれば伝わるかを、工夫を凝らしながら制作します。

また、限られた紙面の中でどのようにレイアウトすれば良いかを学びます。

予習・準備物

事前に多くのポスター・フライヤーを観ておくこと

注意事項

評価方法

課題作品70% 制作態度・積極性30%

課題作品の完成度はもちろん、演習を期限内に提出することを最低基準としています。

コミック基礎

担当教員 石山さやか

受講アトリエ【602】取得単位：1単位

2023/01/24(火)-2023/02/09(木)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

『漫画』とはそもそも何か、実際の漫画作品やその表現の多様性を眺めつつ、自分でも短い漫画作品を作ってみます。現代の漫画作品の発信方法やデビューまでの道筋、また制作の基本的な工程についても学びます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	1月24日	火		アトリエ準備	○	オリエンテーション/講師自己紹介	課題1「自分を元にしたキャラクターを作ってみよう」
2	1月25日	水		感性と表現5		制作指導	
3	1月26日	木		Mac講座B		制作指導	
4	1月27日	金		日本美術史B 英会話	○	課題1・講評	
5	1月28日	土		卒業・修了制作作品審査			
6	1月29日	日					
7	1月30日	月		視覚文明史	○	講義「漫画を描く手順」「テーマを見つける発想法」	課題2「1ページ漫画を描いてみよう」
8	1月31日	火		制作指導		制作指導	
9	2月1日	水		感性と表現5		制作指導	
10	2月2日	木		Mac講座B		制作指導	
11	2月3日	金		日本美術史B 英会話	○	進捗チェック(ネーム)	
12	2月4日	土		フランス語		制作と展示	
13	2月5日	日					
14	2月6日	月		視覚文明史	○	進捗チェック2(下書き・ペン入れ)	
15	2月7日	火		制作指導		制作指導	
15	2月8日	水		制作指導		制作指導	
15	2月9日	木		Mac講座B	○	課題2・講評	

学習目標

まずは漫画というものに触れ、親しんでみます。自分が今まで見てきた以外にも様々な表現方法の漫画が存在すること、言いたいことや見せたいものによって構成も描き方も変わってくることを、実際に手を動かすことで学びます。

予習・準備物

アンケートと課題を終わらせておいてください。

画材はアナログ/デジタル、モノクロ/カラーは自由。つけペンとインクに興味のある学生には授業内で案内します。

注意事項

進捗チェックの日も短めの講義をします。全日出席しましょう。

評価方法

課題作品：70% 制作態度・積極性：30%

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

人物着彩

担当教員 工藤礼二郎、鈴木吐志哉

受講アトリエ 【601・602】 修得単位：1単位

2023/1/10(火)- 2023/1/23(月)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

人体コスチュームモデルを固定ポーズにより描画する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	1月10日	火	○	オリエンテーション	○	学生間クロッキー	AM工藤 / PM鈴木
2	1月11日	水		感性と表現5	○	モデルによるエスキース/制作	pm工藤
3	1月12日	木		Mac講座B		モデルによるエスキース/制作	
4	1月13日	金		日本美術史B 英会話	○	モデルによる制作	工藤
5	1月14日	土		フランス語		制作と展示	
6	1月15日	日					
7	1月16日	月		視覚文明史	○	モデルによる制作	pm鈴木
8	1月17日	火		制作	○	モデルによる制作	pm工藤
9	1月18日	水		感性と表現5	○	モデルによる制作	pm鈴木
10	1月19日	木		Mac講座B	○	モデルによる制作	pm鈴木
11	1月20日	金		日本美術史B 英会話	○	モデルによる制作	工藤
12	1月21日	土		フランス語		制作と展示	
13	1月22日	日					
14	1月23日	月		視覚文明史	○	講評会	工藤 / 鈴木

学習目標

この授業では、単に人体の再現的描写にとどまらず、それを取り巻く空間との関係性や近代以降の人体表現の在り方を様々な角度から検証する。

予習・準備物

F12号キャンバス（学校から支給） 描画材料は油彩もしくはアクリルを各自用意

注意事項

評価方法

提出課題による採点

感性と表現5

担当教員 田野倉康一

受講アトリエ [602] 修得単位： 単位

2022/12/07(水)- 2023/02/01(水)

11:00-12:30

授業内容

受講者がそれぞれに詩に触れ、受容し、詩作することを通して、他人の言葉に左右されることなく、ファインアートやデザインの実践の中で言葉とうまく付き合っていけるようになること。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	12月7日	水	○	オリエンテーション		実技カリキュラム	
2	12月14日	水	○	詩とはなにか。		実技カリキュラム	
3	1月11日	水	○	詩と美術・詩とデザイン		実技カリキュラム	
4	1月18日	水	○	詩の現在、詩の作り方・実技指導		実技カリキュラム	
5	1月25日	水	○	実技指導		実技カリキュラム	
6	2月1日	水	○	講評会		実技カリキュラム	

学習目標

毎回、授業の最初に講師が同時代の詩を朗読、紹介するとともに、講義においては、詩に対する理解を深めることにより、ファインアート、デザインの実践に、言葉の側面から寄与したい。また、その目的において、詩の実技指導も行う。

予習・準備物

できれば図書館などで、思潮社の現代詩文庫シリーズなどを見て、好きになれそうな詩人を見つけておいてもらえるとベストです。それから、雑誌『現代詩手帖』の昨年六月号で詩と美術の特集をやっているのので、これも図書館などで目を通しておいてもらえれば、話がわかりやすいかもしれません。

注意事項

この授業を有意なものとするかは徹底的に本人次第です。それが「詩」を自らのものとする第一歩です。

評価方法

作品及び毎回配布するレジュメの提出により採点する。

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

グラフィックデザイン基礎

担当教員 奥定泰之・山本哲次

受講アトリエ【602】取得単位：1単位

2022/11/30(水)-2022/12/16(金)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

第1・2・3課題：グラフィックデザインやファインアート、イラストなどのジャンルを超えて、ものを作ることの楽しさを体感する。また、タイポグラフィや色面構成などのデザインの基礎を理解した上で、いくつかの小型グラフィック作品を試作する。

オプション課題：文字のデッサンを通して文字の形を知る

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	指導教員
1	11月30日	水		感性と表現4	○	ガイダンス、第1課題説明	奥定
2	12月1日	木		Mac講座B	○	第2課題説明	奥定
3	12月2日	金		日本美術史 英会話	○	オプション課題説明	山本
4	12月3日	土		自主制作/フランス語		制作と展示	
5	12月4日	日					
6	12月5日	月		視覚文明史 留学生就職		各自制作	
7	12月6日	火		各自制作		各自制作	
8	12月7日	水		感性と表現5		帰国報告会	
9	12月8日	木		Mac講座B	○	第1、2課題確認、第3課題説明	奥定
10	12月9日	金		日本美術史 英会話			
11	12月10日	土		創形展		創形展講座	
12	12月11日	日					
13	12月12日	月		視覚文明史	○	制作のチェックと指導	奥定
14	12月13日	火		各自制作	○	制作のチェックと指導	奥定
15	12月14日	水		感性と表現5	○	制作チェック	山本
16	12月15日	木		Mac講座B		各自制作	
17	12月16日	金		日本美術史 英会話	○	全体講評	山本/奥定

学習目標

人に見せる、人を驚かせる、人を誘惑する、などの実社会におけるグラフィックデザインの基本的な役割を考えつつ、それを正しく実現するように素材を選び、小型グラフィック作品を制作する。紙媒体に使用される文字について考える。

予習・準備物

好きな色や質感の紙を画材屋や紙専門店で購入し、一人5枚くらい用意すること。

注意事項

評価方法

提出課題による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

制作と展示

担当教員 松尾 龍

受講アトリエ [602・ギャラリープリント]

2022/11/12(土)- 2023/02/25(土)

修得単位：1単位

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

ギャラリープリントにて、グループごと公開制作・展示を行います。授業外の今後の制作活動においても活かせるような実践的なスキルを学習し、一つの展示を自分たちで作り上げる力を養います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月19日	土		フランス語	○	オリエンテーション	自己紹介・今回の学習目的・グループ分け
2	11月26日	土		フランス語	○	展示のプランニング	グループに分かれ展示コンセプトを話し合う
3	12月3日	土		フランス語	○	製作	決定したコンセプトを軸に制作を進める
4	1月14日	土		フランス語	○	制作	軸に制作を進める
5	1月21日	土		フランス語	○	制作	軸に制作を進める
6	2月4日	土		フランス語	○	展示準備	ギャラリーに実際に作品を展示し始める
7	2月10日	金		フランス語	○	展示開始	作品の展示を終わらせる
8	2月25日	土	○	制作	○	講評会+搬出	各グループの展示の感想をプリントに書き提出 その後、全員で講評会をする

学習目標

企画構成・発信・展示を一貫して行えることを目標としています。そして他のグループの展示、コンセプト、作品を鑑賞し考察することで、より展示の理解を深めることができればと思います。

予習・準備物

特になし

注意事項

評価方法

授業態度・積極性・達成度 グループで考えたコンセプトを活かした最良の展示が出来たか 他のグループの展示をよく鑑賞、考察することが出来たか。提出物以外も評価に入ります。

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科

アニメーション基礎

担当教員 飯田 萌

受講アトリエ 【602】 修得単位：1単位

2022/11/14(月)- 2022/11/29(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

映像研究と制作（自由な発想で）

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	11月14日	月		視覚文明史	○	オリエンテーション	
2	11月15日	火		自主制作		自主制作	
3	11月16日	水		感性と表現4	○	制作指導	
4	11月17日	木		Mac講座B		自主制作	
5	11月18日	金		日本美術史 英会話	○	制作指導	
6	11月19日	土		自主制作/フランス語		制作と展示	
7	11月20日	日					
8	11月21日	月		視覚文明史	○	制作指導	
9	11月22日	火		自主制作		自主制作	
10	11月23日	水		勤労感謝の日			
11	11月24日	木		Mac講座B		自主制作	
12	11月25日	金		日本美術史 英会話	○	制作指導	
13	11月26日	土		自主制作/フランス語		制作と展示	
14	11月27日	日					
15	11月28日	月		視覚文明史	○	講評会	
16	11月29日	火		自主制作		講評会を受けてブラッシュアップ	

学習目標

手描き、コマ撮りなど、自由な表現でアニメーションを制作。

予習・準備物

画材（シャープペン、蛍光ペンはNG。）色鉛筆や太いサインペン。その他使いたい画材を持参。

注意事項

自由度が高い課題ですが、アニメーションは枚数を描かないと動きません。詳しくはガイダンスにて説明しますが、一枚の絵を描き込むのではなく、枚数をたくさん描く課題だと考えておいてください。

評価方法

提出課題による採点

1年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

イラストレーション基礎

担当教員 飯田淳、岡山拓史

受講アトリエ 【602】 修得単位：1単位

2022/10/27(木)- 2022/11/10(木)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

イラストレーションの仕事において求められる事・物を企画。アイデアを通して学ぶ。イラストレーションのマーケットでのオリジナリティー、個性の重要性を作品制作で体験する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月27日	木		Mac講座B	○	オリエン（飯田&岡山）	
2	10月28日	金		日本美術史B 英会話		自主制作	
3	10月29日	土		自主制作/フランス語	○	制作指導（飯田）	
4	10月30日	日					
5	10月31日	月		視覚文明史		自主制作	
6	11月1日	火	○	制作指導（岡山）		自主制作	
7	11月2日	水		感性と表現4	○	制作指導（飯田）	
8	11月3日	木		文化の日			
9	11月4日	金		日本美術史B 英会話	○	制作指導（岡山）	
10	11月5日	土		自主制作/フランス語	○	制作指導（飯田）	
11	11月6日	日					
12	11月7日	月		視覚文明史		自主制作	
13	11月8日	火	○	制作指導（岡山）	○	制作指導（飯田）	
14	11月9日	水		感性と表現4		自主制作	
15	11月10日	木		Mac講座B	○	講評（飯田&岡山）	

学習目標

イラストレーションの仕事と自分らしい表現の発見。

予習・準備物

鉛筆、着彩道具、クロッキー帳等

注意事項

評価方法

課題提出による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

MAC講座B

担当教員 高林直俊

受講アトリエ [401] 修得単位：1単位

2022/10/06(木)- 2023/02/09(木)

9：20-10：50/11：00-12：30

*Mac講座Bは1限と2限を学生が入れ替わりで授業を行います

引き続きIllustrator・Photoshopの基礎的知識を身につけながら、アプリケーションの理解力を掘り下げた授業を行います。また前期以上にデザインやスキルの技術向上なども求めていきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月6日	木	○	MAC講座Aのおさらい		実技カリキュラム	仕事のデータに触れてみる
2	10月13日	木	○			実技カリキュラム	
3	10月20日	木	○	IllustratorとPhotoshop 応用		実技カリキュラム	Illustrator 文字組・書体・カラーリング・レイアウト Photoshop 画像調整・実データ作成
4	10月27日	木	○			実技カリキュラム	
5	11月10日	木	○			実技カリキュラム	
6	11月17日	木	○			実技カリキュラム	
7	11月24日	木	○	【課題】ポストカード作成		実技カリキュラム	初日に完成までの流れや ポイントなどを説明
8	12月1日	木	○	制作進行 & チェック		実技カリキュラム	
9	12月8日	木	○	制作進行 & チェック		実技カリキュラム	
10	12月15日	木	○	制作進行 & チェック		実技カリキュラム	
11	1月12日	木	○	課題講評		実技カリキュラム	毎回の小課題の中での スキルチェック 瞬発力・技量・センス・理解力 ポキャブラリー・熱量など
12	1月19日	木	○	【小課題】		実技カリキュラム	
13	1月26日	木	○	【小課題】		実技カリキュラム	
14	2月2日	木	○	【小課題】		実技カリキュラム	
15	2月9日	木	○	【小課題】		実技カリキュラム	

学習目標

イラストレーターやデザイナーなどデザイン業界に携わる際に、印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。また反復がとてもポイントとなってきますので、積極的に授業に参加いただける様頑張ってもらえると嬉しいです。

予習・準備物

必要な場合は事前に告知します。（USBメモリとメモ出来るものは毎回必須）

注意事項

課題も大事ですが、出席率は他の授業に比べ重視します。

評価方法

課題作品50% 制作態度・積極性50%

感性と表現4

担当教員 大石恵美子

受講アトリエ [602] 修得単位： 単位

2022/10/19(水)- 2022/11/30(水)

11:00-12:30

授業内容

【課題1】①「芸術家・デザイナー・イラストレーター系」②「動画系（映画・番組・ミュージックビデオなど）」③「マンガ・アニメ系」④「場所（美術館・建物・町など）」これら4つのジャンルの自分の好きなベスト3を「文章と画像」で魅力的に紹介する。

【課題2】課題1で用いた画像の中から1つを選び、そこからインスピレーションを受けた作品を作る。

※詳細は初日に説明します。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月19日	水	○	課題説明		実技カリキュラム	
2	10月26日	水	○	【課題1-1】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
3	11月2日	水	○	【課題1-2】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
4	11月9日	水	○	【課題1-3】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
5	11月16日	水	○	【課題1-4】提出・鑑賞		実技カリキュラム	
6	11月30日	水	○	【課題2】提出・鑑賞		実技カリキュラム	

学習目標

【課題1】創作力・表現力を鍛えるために「インプット」を習慣づける。

- ・自分が「何を」「何で」好きなのか？をこの機会に熟考し、その魅力を他人に説明する技術を習得する。
- ・課題終了時に1学年分の「好きなモノ」が集まるので、それらから興味の幅を広げて欲しい。

【課題2】何から刺激を受けて、何を作るか？その流れを体験する。

予習・準備物

自分の好きな①「芸術家・デザイナー・イラストレーター系」②「動画系（映画・番組・ミュージックビデオなど）」③「マンガ・アニメ」④「場所（美術館・建物・町など）」をリストアップし、それらを人に説明する際に使いたい画像を集めておいてください。

注意事項

評価方法

作品提出により採点する。

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

フレスコ画

担当教員 杉崎匡史

受講アトリエ 【901・602】 修得単位：1単位

2022/10/12(水)- 2022/10/26(水)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

古典技法としてのフレスコ画技法を模写を通して試みる。物質が変化していく、その体験を目の当たりにしながら、実直に絵と向き合う時間に身をゆだね、その中で自身の展開に繋がられるのか考えてみる。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月12日	水		感性と表現3	○	ガイダンス・モルタル作り・フレスコ剥がし・原画選択	
2	10月13日	木		Mac講座B	○	モルタル再練り・地塗り・壁荒らし・原画選択・拡大コピー	カルトナー制作穴あけ説明
3	10月14日	金		日本美術史B 英会話		拡大コピー続き・カルトナー制作穴あけ	
4	10月15日	土		自主制作/フランス語	○	モルタル再練り・シノピア・壁荒らし	タンポ用意
5	10月16日	日					
6	10月17日	月		視覚美術史	○	モルタル再練り・イントナコ①・養生・顔料練り	ジョルナータ説明
7	10月18日	火	○	描画説明・描画①	○	ジョルナータ削り・モルタル再練り・イントナコ②	養生・塗りつぎ説明
8	10月19日	水		感性と表現4	○	描画②・ジョルナータ削り・モルタル再練り・イントナコ③	養生
9	10月20日	木		Mac講座B	○	描画③・ジョルナータ削り・モルタル再練り・イントナコ④	養生
10	10月21日	金		日本美術史B 英会話		描画④・ジョルナータ削り・モルタル再練り・イントナコ⑤	養生
11	10月22日	土		描画⑤・ジョルナータ削り		描画⑤・ジョルナータ削り	
12	10月23日	日					
13	10月24日	月		視覚美術史		モルタル再練り・イントナコ⑥・養生	
14	10月25日	火		描画⑥・モルタル再練り		ジョルナータ削り・イントナコ⑦・描画⑦・完成	
15	10月26日	水		感性と表現4	○	片付け・講習会	

学習目標

油彩画以前の一つの古典技法であるフレスコ画技法は、消石灰と砂を混ぜたもので漆喰壁を作り、その壁が乾き切らぬうちに顔料を水のみで溶いて描ききるので、空気中の二酸化炭素と反応した石灰成分が顔料を閉じこめ、半永久的に壁画は色褪せることがない。壁や石灰といった素材の強さにおいては代え難いものがあり、光沢の無い自然な質感や、制約の中で必要とされる高い集中力、五感だけでなく身体を目一杯使って体感することなど、その中に潜む一つの可能性を探求する。

予習・準備物

プチパレット、ペーパーパレット、やわらかい丸筆平筆・彩色筆・刷毛(小)・面相筆など、(豚毛不可)、筆洗用具(大)、汚れても良い服装、箱ティッシュ、ペインティングナイフ、サランラップ、マスクングテープ、ハンドクリーム等

注意事項

制作工程を踏まないとフレスコになりません

評価方法

提出課題による採点、制作への工夫、共同作業への積極的な参加

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

テンペラ画

担当教員 安藤孝浩、工藤礼二郎

受講アトリエ 【602】 修得単位：1単位

2022/10/12(水)- 2022/10/26(水)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

木材板の基材に地塗りをしてパネルを作る。卵テンペラ（水性画材）をつくり、描画材として絵画模写をする。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	10月12日	水		感性と表現3	○	オリエンテーション、下地作り、下絵（転写）	
2	10月13日	木		Mac講座B	○	下絵（転写）金箔分け、ボーク塗り、	※進捗状況に応じて適宜内容変更
3	10月14日	金		日本美術史B 英会話	○	ボーク塗り、金箔貼り	"
4	10月15日	土		自主制作/フランス語	○	"	"
5	10月16日	日					
6	10月17日	月		視覚美術史	○	卵テンペラによる描写	
7	10月18日	火		自主制作	○	"	
8	10月19日	水		感性と表現4		"	
9	10月20日	木		Mac講座B		"	
10	10月21日	金		日本美術史B 英会話		"	
11	10月22日	土		自主制作		自主制作	
12	10月23日	日					
13	10月24日	月		視覚美術史	○	"	
14	10月25日	火		自主制作	○	"	
15	10月26日	水		感性と表現4	○	講評会	

学習目標

中世美術からルネッサンス期を経て現代にまで受け継がれてきた卵テンペラ技法を学ぶ。卵で作る絵具の造形の自由さ、楽しさを学ぶ。ここでは技法と描写の関係を理解し、絵画表現の幅広い可能性を追求する。絵画模写をしながらテンペラ技術の基礎と応用を修得する。

予習・準備物

面相筆、細筆、絵皿、鉛筆

注意事項

評価方法

提出課題による採点と制作過程も評価に加味する（作品評価70点 制作過程30点 合計100点満点）

1年ビジュアルデザイン科

前期ビジュアルデザイン科基礎

担当教員 山本哲次、岡山拓史

受講アトリエ [602] 修得単位：2.5単位

2022/09/02(金)-2022/09/27(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

イラストや文字情報を限られたスペースの中に収めながら、音楽から受けるイメージを広げて、ビジュアルで表現することを学びます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月2日	金		日本美術史A 英会話	○	オリエンテーション	担当：岡山
2	9月3日	土		フランス語	○	制作	担当：山本・岡山
3	9月4日	日					
4	9月5日	月		文章技法論	—	自主制作	—
5	9月6日	火	○	中間講評1	○	中間講評1	担当：岡山
6	9月7日	水		感性と表現3	○	制作	担当：山本
7	9月8日	木		Mac講座A	○	制作	担当：岡山
8	9月9日	金		日本美術史A 英会話	○	制作	担当：山本・岡山
9	9月10日	土		フランス語	—	自主制作	—
10	9月11日	日					
11	9月12日	月		文章技法論	—	自主制作	—
12	9月13日	火	○	制作	○	制作	担当：岡山
13	9月14日	水		感性と表現3	○	中間チェック	担当：山本
14	9月15日	木		Mac講座A	—	自主制作	—
15	9月16日	金		日本美術史A 英会話		後期ガイダンス	
16	9月17日	土		フランス語	—	自主制作	—
17	9月18日	日					
18	9月19日	月		敬老の日			
19	9月20日	火	○	制作	○	制作	担当：岡山
20	9月21日	水		感性と表現3	○	中間チェック	担当：山本
21	9月22日	木		Mac講座A	—	自主制作	—
22	9月23日	金		秋分の日			
23	9月24日	土		創立記念日振替日			
24	9月25日	日					
25	9月26日	月		文章技法論	—	自主制作	—
26	9月27日	火	○	講評	○	講評	担当：山本・岡山

学習目標

自分の好きなミュージシャンのCDジャケットとポスターをオリジナルで制作します。

予習・準備物

デザインしたいミュージシャンの選定

注意事項

メインビジュアルはオリジナルで描いたイラストを使用すること。

イラストには人を描かないこと。使用画材は自由。

評価方法

授業態度、中間講評1&2、講評での総合評価

1年ファインアート科

前期ファインアート科基礎

担当教員 工藤礼二郎、鈴木吐志哉

受講アトリエ [601] 修得単位：2.5単位

2022/09/02(金)-2022/09/27(火)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

- ①絵画の表面：絵画の特徴的要素に「マチエール(絵肌)」があります。単なる絵の具がマチエールを通して絵画としての魅力にどのように繋がるかを体験してみましょう。
- ②写真と絵画：19世紀に確立された「写真」は絵画にも多大な影響を与えました。この授業では「写真のように描く」といった直接的な手法ではなく写真の中の要素をいかに「絵画化」するかを考えてみます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月2日	金		日本美術史A 英会話	○	オリエンテーション/素材集め	担当：工藤
2	9月3日	土		自主制作/フランス語	○	コラージュ制作	担当：鈴木
3	9月4日	日					
4	9月5日	月		文章技法論	—	自主制作	
5	9月6日	火	—	自主制作	○	コラージュ制作/タブロー制作	担当：工藤
6	9月7日	水		感性と表現3	○	タブロー制作	担当：鈴木
7	9月8日	木		Mac講座A	—	自主制作	
8	9月9日	金		日本美術史A 英会話	○	タブロー制作	担当：工藤
9	9月10日	土		フランス語	—	自主制作	
10	9月11日	日					
11	9月12日	月		文章技法論	○	中間講評	担当：工藤・鈴木
12	9月13日	火	○	素材集め	○	タブロー制作	担当：AM鈴木・PM工藤
13	9月14日	水		感性と表現3	—	自主制作	担当：工藤
14	9月15日	木		Mac講座A	○	タブロー制作	担当：鈴木
15	9月16日	金		日本美術史A 英会話		後期ガイダンス	
16	9月17日	土		自主制作/フランス語	○	タブロー制作	担当：鈴木
17	9月18日	日					
18	9月19日	月		敬老の日			
19	9月20日	火	—	自主制作	○	タブロー制作	担当：工藤
20	9月21日	水		感性と表現3	○	タブロー制作	担当：工藤 PM2:00~
21	9月22日	木		Mac講座A	—	自主制作	~
22	9月23日	金		秋分の日			
23	9月24日	土		創立記念日振替休日			
24	9月25日	日					
25	9月26日	月		文章技法論	○	タブロー制作	担当：鈴木
26	9月27日	火	—	自主制作	○	講評会	担当：工藤・鈴木

学習目標

現代の絵画や版画に強い影響を与えた西洋近代絵画の種々の表現に触れ、絵に対する視野を広げながら描くことの楽しさを見つける授業です。

予習・準備物

アクリル、油彩用具など必要に応じて学生が準備する。 キャンバスF8号各自2枚支給。

注意事項

講師の指導日は講師が出席を取りますが、指導日以外でも授業日は助手が出席を取ります。

評価方法

課題提出による採点

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

銅版画基礎

担当教員 長島 充

受講アトリエ 【602・工房】 修得単位：1単位

2022/09/28(水)- 2022/10/11(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

腐食銅版画の中で最も基本的な技法であるライン・エッチング技法によりモノクロームの銅版画1点(18×24cm)を制作します。ドローイングにも感覚の近い線描と点描を用いて自然物を観察し銅板という物質に表現していきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月28日	水		感性と表現3	○	オリエンテーション	ガイダンス+版の準備
2	9月29日	木	○	制作指導	○	制作指導	描画+腐食指導
3	9月30日	金		自主制作		自主制作	
4	10月1日	土		自主制作/フランス語	○	制作指導	試し刷り指導
5	10月2日	日					
6	10月3日	月		視覚文明史	○	制作指導	試し刷り～再彫版
7	10月4日	火		自主制作		自主制作	
8	10月5日	水		感性と表現3	○	制作指導	各自、自主制作
9	10月6日	木		Mac講座B		自主制作	
10	10月7日	金		日本美術史B 英会話		自主制作	
11	10月8日	土		自主制作/フランス語	○	制作指導	本刷り指導
12	10月9日	日					
13	10月10日	月		スポーツの日			
14	10月11日	火		自主制作	○	講評会	採点

学習目標

銅版画の基本的なエッチング技法での制作により版画に親しんでもらう。「自然物」をモチーフに線描と点描によるモノクロームの描写力・表現力を養う。

予習・準備物

初日のガイダンスの日にテーマ「自然物」をモチーフとした版と同サイズ(18×24cm)の下絵を各自制作し、必ず持ってくること。

注意事項

工房使用にあたって、薬品類、プレス機、工具類など危険を伴う物もあるため、使用するときは講師や助手の指示に従うこと。

評価方法

課題作品70%(描写力と表現力)、制作姿勢など30%

1年生 ファインアート科・ビジュアルデザイン科 共通

シルクスクリーン基礎

担当教員 東樋口徹

受講アトリエ 【602・工房】 修得単位：1単位

2022/09/28(水)- 2022/10/11(火)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版以上を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙8枚程度）制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月28日	水		感性と表現3	○	オリエンテーション、技法説明	
2	9月29日	木		制作		制作	
3	9月30日	金		日本美術史B 英会話	○	技法説明(製版)	
4	10月1日	土	○	制作	○	技法説明(刷り)	
5	10月2日	日					
6	10月3日	月		視覚文明史		制作	
7	10月4日	火		制作	○	技法説明(様々な刷り方)	
8	10月5日	水		感性と表現3	○	制作	
9	10月6日	木		Mac講座B		制作	
10	10月7日	金		日本美術史B 英会話		制作	
11	10月8日	土		制作/フランス語	○	制作	
12	10月9日	日					
13	10月10日	月		スポーツの日			
14	10月11日	火		制作	○	講評会	

学習目標

シルクスクリーンは別名孔版と呼ばれ、型染めの型紙と紗が組み合わされて改良されたものです。枠に張った紗の目を unnecessary 部分は塞ぎ、画の孔(穴)の部分からスキージによって下の紙にインクを落として刷る技法です。授業においてはいくつかの製版方法がありますが、現在一般的に行われる直接感光法を学びます。基礎を身に付け各自のイメージに近づける作品作りを目指します。

予習・準備物

下絵、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス(ボロ布)、新聞紙、用紙(いずみ中判4枚またはA3厚紙ケント紙8枚分)、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙(なんでも可)

注意事項

初日までに下絵(アイデアスケッチ)を用意すること。

授業では汚れても良い格好(エプロン等)をしてください。

評価方法

習熟度と提出課題による採点

感性と表現3

担当教員 高倉公美

受講アトリエ [602] 修得単位： 単位

2022/09/07(水)- 2022/10/12(水)

11:00-12:30

授業内容

アニメやゲームの世界を衣装の観点からみてゆく。アニメのみならず憧れのファッションスタイルでも可。全員デザイン画を描き提出し実現可能か検証する。次に、一つのことに焦点を当てて提案する重要さを考えてゆく。今回はポケットの奥深さを体験していただき、実用可能な作品を作ってゆき、発表する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月7日	水	○	二次元デザインと三次元デザインの考え方		実技カリキュラム	デザイン画を描く
2	9月14日	水	○	自分なりのキャラクター構想、デザイン画を起こす		実技カリキュラム	デザイン画を描く
3	9月21日	水	○	デザイン画を基に生地を決めていく、その考え方		実技カリキュラム	スワッチ準備
4	9月28日	水	○	キャラクター発表会		実技カリキュラム	発表会
5	10月5日	水	○	ポケットとは何かを考える。デザイン画を描き実技に入る		実技カリキュラム	布と針糸準備
6	10月12日	水	○	実技の続き、提出、感想文		実技カリキュラム	

学習目標

クリエイターになるための考え方(アイデアや企画)や社会との関わり方の知識を感じ得てもらいつつ、実技では自分のデザインを衣装観点から形にしてゆく。二次元デザインは現実に落とし込めるのか、の検証をする。

予習・準備物

第一回目のiPad持ってるならそちらを。または紙と色鉛筆ですすめたいです。プリントアウトは学校で出来ますか?第二回から”生地の端切れ、ハサミ、ホチキス”。常にプロジェクターは使用したいです

注意事項

評価方法

作品提出、最終提出の文面により採点する。

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現2

担当教員 尼子 靖

受講アトリエ [601,602,(901)]

2022/06/01(水)- 2022/07/06(水)

修得単位：「感性と表現1、2、3」全て習得して1単位

11:00-12:30

授業内容

自己のクリエイティブな感性、表現の可能性を2次元に留まらず、3次元の世界に視野を広げ、感性の幅を広げることを目標とする。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月1日	水	○	空間表現に関わるアート、デザイン等のレクチャー&課題説明。次回に向けての家庭課題。		構成力	
2	6月8日	水	○	アイデアスケッチを元に、紙で試作を作りながらアイデアを練る。		構成力	
3	6月15日	水	○	アイデアを発表後、調整、決定して制作の段取りを決める。		構成力	
4	6月22日	水	○	制作		構成力	
5	6月29日	水	○	制作～作品完成		構成力	
6	7月6日	水	○	講評会		構成力	

学習目標

自己のクリエイティブな感性、表現の可能性を2次元に留まらず、3次元の世界に視野を広げ、感性の幅を広げることを目標とする。

予習・準備物

学校支給素材A：B3パネル、B3イラストボード、四つ切画用紙@3枚、四つ切ケント紙@3枚、四つ切白ダンボール@1枚、学校準備素材（教室単位で）：両面テープ15こ程度、55&77スプレーのり各3個、スティックのり5個、ホッチキス5個、マスキングテープ10個、画鋏、クリップ人数分。学生持参用具：筆記用具一式、クロッキー帳、カッターナイフ、ハサミ、30cm以上の定規、彩色用具一式、カッターマット（学校にあればそれを使用する）

注意事項

制作時、カッターナイフを使うので、事故の無いように、加工方法、説明を良く聞くこと。

評価方法

作品提出により採点する。

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

伝統と現代

担当教員 小林大悟

受講アトリエ [601, 602, 901] 修得単位: 単位

2022/04/16(土)-2022/7/16(土)

13:30-16:30

授業内容

ワークショップ形式の課題を通じて、日常的に接する機会の少ない「日本美術」や「伝統」に関わる素材や題材に広く触れていきます。

授業スケジュール/計画

		指導	AM	指導	PM	備考
	4月16日	土	語学学科	○	オリエンテーション	
	4月23日	土	語学学科	○	長い紙に描いてみよう	
	5月7日	土	語学学科	○	長い紙に描いてみよう 続きと鑑賞会	
	5月14日	土	語学学科	○	墨で見つけよう 外	
	5月21日	土	語学学科	○	墨で見つけよう 中	
	5月28日	土	語学学科	○	墨絵を軸装しよう&鑑賞会	
	6月4日	土	語学学科	○	現代鳥獣戯画を描こう	
	6月18日	土	語学学科	○	現代妖怪を描こう 準備	
	7月2日	土	語学学科	○	現代妖怪を描こう 制作	
	7月9日	土	語学学科	○	現代妖怪を描こう 続き	
	7月16日	土	語学学科	○	現代妖怪を描こう 鑑賞会	

学習目標

「日本美術」を題材に、ときに拡大解釈も混じえながら実技制作を行なっていきます。この授業で重きを置くのは技術習得や作品の出来上がりではなく、不慣れな画材を通じてそれぞれが実験・発見を積み上げていくことです。授業では複数人での共同制作や鑑賞会といった普段とは少し異なる環境も織り交ぜます。授業を通じ日本美術へと関心を持つきっかけをつくり、今後専門分野に分かれても応用していける引き出し作りを目指します。

予習・準備物

筆記用具、汚れても良い服装

注意事項

対面授業は進行状況を鑑みて、内容の前後や多少の変更もあります。(オンライン授業日は原則変更しません)

評価方法

参加意欲と授業態度を重視します。

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

表現力

担当教員 飯田 淳

受講アトリエ [601,602(901)] 修得単位：1.5位

2022/04/15(金)-2022/7/15(金)

13:30-16:30

授業内容

表現力は柔らかな発想のもと、物や事、ストーリーを色で表現する授業です。決めつけで物を作らず、固定概念に囚われない事。意外性のある課題を通して「自分の枠」を飛び越え、個性が重視されるイラストの世界に近づくための授業でもあります。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月15日	金		日本美術史A/英会話	○	オリエンテーション	
2	4月22日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
3	5月13日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
4	5月20日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
5	5月27日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
6	6月3日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
7	6月10日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
8	6月17日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
9	6月24日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
10	7月1日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
11	7月8日	金		日本美術史A/英会話	○	制作	
12	7月15日	金		日本美術史A/英会話	○	講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

課題ごとに指示する。

注意事項

出来る限り授業時間内に制作完成させること。

評価方法

課題提出と授業態度で評価する。

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

企画力

担当教員 岡山拓史

受講アトリエ [601、602] 修得単位：1.5単位

2022/04/14(木)-2022/7/14(木)

13:30-16:30

授業内容

個人が企画やアイデアを求められる場面は現代社会では非常に多くなっています。企画力ではアイデアの出し方、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、実現力などクリエイティブの現場で必要となるスキルを、課題制作を通して養います。そして社会との繋がりを意識してもらいます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月14日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	オリエンテーション/課題制作A-1	
2	4月21日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	課題制作A-2	
3	5月12日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	課題制作A-3	
4	5月19日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	課題制作A-4	
5	5月26日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	課題制作A-5	
6	6月2日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	課題制作A-6	
7	6月9日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	プレゼンテーション/講評	
8	6月16日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	課題制作B-1	
9	6月23日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	課題制作B-2	
10	6月30日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	課題制作B-3	
11	7月7日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	課題制作B-4	
12	7月14日	木		Mac講座/社会とクリエイター	○	プレゼンテーション/講評	

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

生活スタイルが大きく変わった昨今、自分の中で感じたこと、気づいたこと、社会の変化や未来、この課題制作の中で必要になることです。自分の中で整理しておいてください。

注意事項

クリエイティブな現場と同じようにグループで課題制作を進めます。欠席、遅刻をしないよう注意してください。

評価方法

課題提出による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

社会とクリエイター

担当教員 田中北斗

受講アトリエ [602] 修得単位：1単位

2022/04/14(木)-2022/07/14(木)

「社会とクリエイター」は「Mac講座A」と1限、2限で学生は入れ替わりで授業を受けます。

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

毎回、講義を中心にプロのクリエイターに必要な知識や考え方を養います。授業時間内の後半では、様々なテーマに合わせ、各自の意見やアイデアを文章やラフスケッチなどで表現、提出。発表など行う場合もあります。ゲストを招いたトークセッションでは、プロのクリエイターになるためのプロセスなどを伺います。質問コーナーも予定。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月14日	木	○	Mac講座A	オリエンテーション	企画力	
2	4月21日	木	○	Mac講座A	講義「クリエイターになるために1」	企画力	
3	5月12日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク	企画力	ゲストを招いたトーク
4	5月19日	木	○	Mac講座A	講義「クリエイターになるために2」	企画力	
5	5月26日	木	○	Mac講座A	講義「社会を巻き込むアイデア1」	企画力	
6	6月2日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク	企画力	ゲストを招いたトーク
7	6月9日	木	○	Mac講座A	講義「社会を巻き込むアイデア2」	企画力	
8	6月16日	木	○	Mac講座A	発表「みんなのアイデアを聞こう」	企画力	受講生のアイデア発表
9	6月23日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク	企画力	ゲストを招いたトーク
10	6月30日	木	○	Mac講座A	講義「セルフプロデュース1」	企画力	
11	7月7日	木	○	Mac講座A	発表「私のセルフプロデュース」	企画力	受講生のアイデア発表
12	7月14日	木	○	Mac講座A	●クリエイタートーク	企画力	ゲストを招いたトーク

学習目標

クリエイターになるための考え方（アイデアや企画）や社会との関わり方、コミュニケーションの大切さなどを講義やゲストを招いたトークセッションを通して学びます。

予習・準備物

筆記用具：授業の後半に、質問やアイデアなどを「文章・ラフスケッチ」などの形で提出していただくことがあります。

注意事項

評価方法

授業態度 及び 提出物による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

MAC講座A

担当教員 高林直俊

受講アトリエ [401] 修得単位：1単位

2022/04/14(木)-2022/09/22(木)

* 「Mac講座A」と「社会とクリエイター」は1限と2限を学生が入れ替え制で授業を行います。

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

前期では基礎的なPCの使い方、IllustratorおよびPhotoshopの基礎的知識、技術を身につけるための授業を行います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月14日	木	○	オリエンテーション	社会とクリエイター	企画力	自己紹介・Macに触れてみよう
2	4月21日	木	○	データ作成の基礎	社会とクリエイター	企画力	データ名・データ作成・データ送信
3	5月12日	木	○	Illustratorとは	社会とクリエイター	企画力	Illustratorに触れてみよう
4	5月19日	木	○	Photoshopとは	社会とクリエイター	企画力	Photoshopに触れてみよう
5	5月26日	木	○	Illustrator_基礎A	社会とクリエイター	企画力	Illustratorの基礎
6	6月2日	木	○	Illustrator_基礎B	社会とクリエイター	企画力	基礎操作、ツール、図形、イラスト、文字の扱い方、印刷知識
7	6月9日	木	○	Photoshop_基礎A	社会とクリエイター	企画力	Photoshopの基礎
8	6月16日	木	○	Photoshop_基礎B	社会とクリエイター	企画力	基礎操作、ツール、画像処理・合成など
9	6月23日	木	○	Illustrator & Photoshop	社会とクリエイター	企画力	予備日
10	6月30日	木	○	【課題A】名刺作成進行	社会とクリエイター	企画力	を作る。制作～出力提出&データ提出
11	7月7日	木	○	【課題A】名刺作成進行	社会とクリエイター	企画力	
12	7月14日	木	○	【課題A】課題提出	社会とクリエイター	企画力	
13	9月8日	木	○	【自由課題】作成進行	社会とクリエイター	企画力	自由課題。制作～出力提出&データ提出まで
14	9月15日	木	○	作成進行	社会とクリエイター	企画力	
15	9月22日	木	○	課題提出	社会とクリエイター	企画力	

学習目標

イラストレーターやデザイナーなどデザイン業界に携わる際に、印刷物（紙媒体）をベースとした各メディアのデータ作成に必要な基礎知識やスキルなどを身につけることを目指します。また他業種などの道を選ぶにしても自己アピールの際に必要な最低限のスキルを身につけます。

予習・準備物

毎授業USBメモリは必須となります。その他何か必要な場合は事前に告知します。

注意事項

課題も大事ですが、出席率は他の授業に比べかなり重視します。

評価方法

課題作品 50% 制作態度 50%

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

構成力

担当教員 山本哲次

受講アトリエ [602、601] 修得単位：1.5単位

2022/04/13(水)-2022/7/13(水)

13：30-16：30

授業内容

構成力は構図、レイアウトなど、組み立てる力をつける授業です。対象物をじっくり観察し、特徴を捉え、どういう構図やレイアウトがベストなのか、作品の分析や制作を通して身につけていきます。同時にデザインの考え方を学んでいく授業です。制作の一連の流れを体験しながら自分自身で作品を評価、分析することも学んでいきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	水		感性と表現	○	ガイダンス	オリエンテーション
2	4月20日	水		感性と表現	○	シンボルマーク/観察・分析	
3	4月27日	水		感性と表現	○	シンボルマーク/描写	
4	5月11日	水		感性と表現	○	シンボルマーク/色面構成	※各自、描写制作を進めること
5	5月18日	水		感性と表現	○	シンボルマーク/マーク制作	
6	5月25日	水		感性と表現	○	シンボルマーク/検証/評価	シンボルマーク講評
7	6月1日	水		感性と表現	○	フライヤー/分解・分析	
8	6月8日	水		感性と表現	○	フライヤー/アイデアスケッチ	
9	6月15日	水		感性と表現	○	フライヤー/構築・表現	
10	6月22日	水		感性と表現	○	フライヤー/構築・表現	
11	6月29日	水		感性と表現	○	フライヤー/構築・表現	
12	7月6日	水		感性と表現	○	フライヤー/検証・評価	
13	7月13日	木			○	フライヤー講評・構成力総評	フライヤー講評・総評

学習目標

将来活動をする上で基本の「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。基礎力をしっかり身に付けることで、2年、3年の専門課程ができるようになります。「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」の5つの全てを習得することによって初めてプロとして必要な基礎力が身につきます。「構成力」は、表現においてのカタチの形成・構図・レイアウトなどに関わる重要な基礎の力です。デザインの基礎的な事や考え方を学ぶことを目標とします。

予習・準備物

筆記用具・スケッチ用紙。その他は授業初日に説明します。

注意事項

1. 制作本来の目的を意識し、事前の準備をしっかり行いましょう。
2. 遅刻・欠席が無いように注意しましょう。
3. 提出物の期限を守りましょう。
4. アトリエはキレイに使いましょう。
5. 授業・課題制作を楽しみましょう。

評価方法

制作態度・積極性60%（課題作品の完成度はもちろん、演習を期限内に提出することを最低基準とします）課題作品40%

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

感性と表現1

担当教員 富岡由理弥

受講アトリエ [601,602,(901)]

2022/04/13(水)- 2022/05/25(水)

修得単位：「感性と表現1、2、3」全て習得して1単位

11:00-12:30

授業内容

クラシック音楽の基礎や、音楽の歴史などを学びながら、空間芸術に対して時間芸術がどのようなものであるかを学ぶ。さまざまなリズムや音が何を表しているのかをイメージし、想像力を養っていく。実際の実技も伴う。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月13日	水	○	オリエンテーション アンケート、音楽と美術のつながり、 音楽の歴史など。		構成力	学校準備： CDがかけられる機材
2	4月20日	水	○	音楽修辞学。 各作曲家のエピソードなど		構成力	
3	4月27日	水	○	心の表現方法。音楽において言葉をど のように聴衆へ伝えるか。		構成力	
4	5月11日	水	○	リズムから言葉をイメージしていく。 想像力を養う。		構成力	
5	5月18日	水	○	腹式呼吸や発声を体験。声はどのよう に出ているのかを実感する。		構成力	朗読・表現の課題配布
6	5月25日	水	○	実技とレポート提出		構成力	

学習目標

芸術性を身につける為には広い視野で」様々な芸術に触れる機会が必要。美術と音楽にも共通点があると考え、音楽の知識や感覚を少しでも知る事により、自身の作品に生かして貰いたい。

予習・準備物

注意事項

評価方法

実技及びレポートを提出による採点

1年ファインアート科/ビジュアルデザイン科

観察力

担当教員 工藤礼二郎

受講アトリエ [901.601.602] 修得単位：3単位

2022/04/12(火)-2022/7/12(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

観察力では単に描写力を鍛えるだけでなく、描くことを通して物事を深く見つめることのできる力を養っていきます。それはプロのクリエイターとして必要かつ重要なことです。じっくりと物と対話しながら描くことの面白さと大切さを学びます。鉛筆、木炭デッサンから始まり、人体デッサン、水彩、油画など絵画表現の基礎を身につけます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	火	○	オリエンテーション/鉛筆デッサン(静物)	○	鉛筆デッサン(静物)	B3画用紙・鉛筆
2	4月19日	火	○	講師作品解説/鉛筆デッサン(静物)	○	鉛筆デッサン(静物)	B3画用紙・鉛筆
3	4月26日	火	○	制作実演/木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
4	5月10日	火	○	木炭デッサン(静物)	○	木炭デッサン(静物)	木炭紙・木炭
5	5月17日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー(男性)	B3クロッキー帳・コンテ
6	5月24日	火	○	美術解剖学講座	○	人体クロッキー(女性)	B3クロッキー帳・コンテ
7	5月31日	火	○	人体デッサン(男性座りポーズ)	○	人体デッサン(男性座りポーズ)	木炭紙大画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
8	6月7日	火	○	人体ヌードデッサン(女性寝ポーズ)	○	人体ヌードデッサン(女性寝ポーズ)	木炭紙大画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
9	6月14日	火	○	人体コスチュームデッサン(座りポーズ)	○	人体コスチュームデッサン(座りポーズ)	木炭紙大画用紙 or 木炭紙・鉛筆or 木炭
10	6月21日	火	○	水彩描写(顔を描く)	○	水彩描写(顔を描く)	B3画用紙・水張りパネル・水彩
11	6月28日	火	○	水彩描写(風景を描く)	○	水彩描写(風景を描く)	B3画用紙・水張りパネル・水彩
12	7月5日	火	○	基礎油画	○	基礎油画	F10号キャンバス・油彩
13	7月12日	火	○	基礎油画	○	基礎油画/基礎油画	F10号キャンバス・油彩

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをするのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

注意事項

評価方法

課題作品による採点

技法力

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ [601 602 他] 修得単位：1.5単位

2022/04/11(月)-2022/7/11(月)

13:30-16:30

授業内容

技法力は様々な版画の技法から生まれる表現を体験しながら探る授業です。まずフロタージュから始まりモノタイプやシルクスクリーンなど、直接描くことでは得られない間接表現の魅力を学びます。さらに本校収蔵の葛飾北斎「神奈川沖浪裏」復刻版の版木をキーワードに、自由な表現による木版画、コラージュへと展開させてゆきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月11日	月		学科	○	フロタージュ	筆記用具
2	4月18日	月		学科	○	モノタイプ (トランスファー)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 鉛筆 ボールペン 新聞紙 (あれば)
3	4月25日	月		学科	○	モノタイプ (スクラッチ)	
4	5月9日	月		学科	○	シルクスクリーン (原稿制作)	
5	5月16日	月		学科	○	シルクスクリーン (刷り)	
6	5月23日	月		学科	○	シリコンリトグラフ (版制作)	
7	5月30日	月		学科	○	シリコンリトグラフ (刷り)	
8	6月6日	月		学科	○	木版画 (正方形の版木を使って) (葛飾北斎復刻版版木の摺り体験)	
9	6月13日	月		学科	○	木版画 (正方形の版木を使って) (葛飾北斎復刻版版木の摺り体験)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 鉛筆 ボールペン 新聞紙 (あれば)
10	6月20日	月		学科	○	木版画 (正方形の版木を使って) (葛飾北斎復刻版版木の摺り体験)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 鉛筆 ボールペン 新聞紙 (あれば)
11	6月27日	月		学科	○	コラグラフ (版制作) (葛飾北斎復刻版版木の摺り体験)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 ハサミ カッターなど (あれば)
12	7月4日	月		学科	○	コラグラフ (刷り) (葛飾北斎復刻版版木の摺り体験)	筆記用具 エプロンなど汚れても大丈夫な服装 ハサミ カッターなど (あれば)
13	7月11日	月		学科	○	講評会	筆記用具

学習目標

基礎課程として1年次に、表現の根本になる5つのエレメントに分けて指導を行う。5つのエレメントとは「技法力」「観察力」「構成力」「企画力」「表現力」を指す。将来どんな活動をする上でも基本的な「体」ができていないと多様なものは生まれてこない。1年次前期で基礎力をしっかり身に付けることで、クリエイティブの入り口に立つことができ、2年、3年の授業も「なぜこれをやるのか」を理解できるようになる。その一番大事な部分を取り組む授業が「5つの力」である。上手に描けていながら、自分の描写力に自信のない人。そういった人がこの5つの力を通過する事によって苦手意識を克服し、次世代のプロを育成する足がかりとする。もの作りの構造を理解し、時代に対応できる力をつけることを目標とする。

予習・準備物

●配信される技法の紹介動画の視聴 (その都度告知します) ●鉛筆、ノート等の筆記用具 ●エプロン等の汚れても大丈夫な服装

注意事項

7/12に講評会を行います。制作した自分の作品を支給したデザインケースできちんと管理しておいてください。

評価方法

授業での積極性50% 提出課題50%